

特定非営利活動法人

輝く猪苗代湖をつくる県民会議

平成30年度 通常総会

次 第

日時 : 平成30年5月20日(日) 16:00～

場所 : 郡山市市民交流プラザ 第3会議室 (ビッグ・アイ7階)

1 開 会

2 理事長あいさつ

3 定足数確認

4 議長選出

5 議事録署名人選出

6 議 題

第1号議案 平成29年度活動報告について

第2号議案 平成29年度活動決算報告について

第3号議案 平成30年度活動計画(案)について

第4号議案 平成30年度活動予算(案)について

7 その他

8 閉 会

第1号議案

平成29年度活動報告について

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日

平成29年度活動の主な執行状況は、次のとおりです。

I 会議等の開催

1 平成29年度 通常総会

平成29年5月20日(土) 18:00～ 於：郡山市市民交流プラザ 第1会議室(郡山市)

《 議題 》

- ・平成28年度事業報告・同活動決算報告
- ・役員選出(任期満了に伴う選出)
- ・平成29年度事業計画(案)・同活動予算(案)

2 理事会

(1) 第1回理事会

平成29年4月15日(日) 15:30～16:45 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・平成28年度事業報告・活動計算書の案について確認 等
- ・平成29年度事業計画 予算書案について検討 等

(2) 第2回理事会

平成29年5月20日(土) 19:15～19:25 於：郡山市市民交流プラザ

《 議題 》

- ・理事長に中村玄正、副理事長に長澤金一を選任した。

(3) 第3回理事会

平成29年8月27日(日) 16:00～17:20 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・9月2日の県内大学水泳大会に向けての準備状況の確認
- ・9月30日から始まる漂着水草回収事業の実施に向けて詳細部分の協議
- ・活動資金の確保、今年度の活動状況の報告、今後の活動について

(4) 第4回理事会

平成30年3月11日(日) 16:00～ 於：猪苗代事務所

《 議題 》

- ・平成29年度活動状況の確認、決算の見通し、助成金確保の見通し 等
- ・大腸菌群数環境基準満足、COD低減について意見交換

II 特定非営利活動

1 水質改善県民活動

(1) 漂着水草回収活動

- ・ 国際ロータリー第 2530 地区と猪苗代ロータリークラブの全面的協力を得ながら計画に基づき実施したが、天候不順により 10 月 7 日（土）、22 日（日）の作業は中止にした。

実施期間：平成 29 年 9 月 30 日～11 月 5 日の毎週土・日曜日+α 延べ 11 回

参加人数：1,721 名 水草回収量：177.8 m³（コンテナ数：5,051 箱）

- ・ 役員及び会員有志による回収活動の反省会を平成 29 年 11 月 11 日（土）に長浜の「みなとや」で開催。

《 議題 》

- ・ 漂着水草回収事業について反省点等について協議

(2) 水陸両用クローラ藻刈船によるヒシ・ヨシ刈りの実演

島根県松江市の(有)大新の協力（無償提供）により、松橋浜で藻刈船を同社の社員が操縦し、ヒシとヨシ刈り取りのデモを行った。

日 時：平成 29 年 7 月 18 日（土）10:00～11:30

場 所：猪苗代湖松橋浜北側エリア

出 席：行政機関、環境活動団体の役員など 18 名

(3) 北部水域のヒシに関する意見交換会

毎年 5 月頃から 10 月にかけて、白鳥浜沖などに大量繁茂するヒシの水環境に及ぼす影響（窒素・リンの吸収、アオコの発生抑制、枯死による COD 上昇 等）について、専門家（薄葉満氏や黒澤高秀福大教授等）を交えて意見交換を行った。

日時：平成 29 年 5 月 16 日（火）14:30～17:00 場所：学びいな

参加者：11 名

(4) 他団体との協力による清掃活動・交流活動等

- ・ 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会主催（福島県産業廃棄物協会、猪苗代町等の共催）の「猪苗代湖クリーンアクション 2017」に参加

平成 29 年 4 月 15 日（土）天神浜、

6 月 24 日（土）舟津浜、

10 月 25 日（水）白鳥浜

- ・ アサザ保護のためのヒシ刈り取り作業（猪苗代湖の自然を守る会主催）に参加
平成 29 年 7 月 20 日～9 月 14 日 毎週金曜日に開催 三城潟～高梁川河口の湖岸
- ・ 福島県水環境活動団体交流会に参加（猪苗代湖の現状と N P O の活動状況を講演）
平成 29 年 6 月 24 日（土）猪苗代町レイクサイド磐光
- ・ 環境放射能除染学会第 6 回研究発表会（平成 29 年 7 月 19 日～20 日 福島県文化センター）に参加し、猪苗代湖の現状、N P O の活動状況等のパネル展示を行い、県内外の参加者に P R 活動を実施。

- ・県水大気環境課が事務局の水環境保全フォーラムに参加し、当会の活動状況等を報告
平成 29 年 11 月 21 日（火） 猪苗代町体験交流館「学びいな」

2 水質研究活動

(1) 湖岸主要地点の水質調査・現地状況の記録

志田浜、天神浜、松橋浜、浜路浜、舟津浜、鬼沼東など 11 地点で、平成 29 年 5 月から 30 年 3 月まで原則月 2 回の定期調査と臨時調査の計 26 回、pH、COD、T-N、T-P の水質調査を実施。（中村理事長・藤田理事）

青松浜から志田浜にかけての湖岸は比較的清澄であるが、天神浜から白鳥浜西の浅い北部水域の湖岸は、ことに秋季から冬季にかけて汚濁が顕著であることが明白となった。また、ヒシの放置に伴う腐食等により、場所によって湖岸の湖水は COD100 mg/L 程度の状況が確認された。

(2) ドローン空撮による湖面の水生植物調査

千葉県在住の中井博久氏（当 NPO 活動の理解者）の協力で、ヒシ等の繁茂状況を把握するため、4 月 30 日、9 月 3 日にドローンを用いて北部水域の空撮を行った。

(3) 日本水環境学会第 51 回年会（H30.3.15～17 札幌市）で、中村理事長と藤田理事が研究成果を発表

3 子ども及び青少年の環境保全支援活動

(1) 郡山市立湖南小学校の環境教育支援活動

鬼沼での水質調査と魚類調査を行い、鬼沼の環境改善のための意見交換を実施

実施日：平成 29 年 9 月 15 日（金）、

参加者：湖南小学校 4 年生 21 名・父兄、湖南行政区役員、郡山市生活環境課、郡山市湖南行政センター、猪苗代漁業協同組合 他

(2) 県内大学水泳部による猪苗代湖体感水泳大会

次世代を担う大学生に猪苗代湖と水環境保全の重要性を体感してもらい、水環境保全を県民に語りかける存在として社会に羽ばたいてもらうことを目的として、次のとおり実施。

実施日：平成 29 年 9 月 2 日（土）

参加大学：会津大学、日本大学工学部、福島県立医科大学、福島大学の水泳部員 37 名

実施内容：清澄な水質を体感するための湖心での遊泳と志田浜沖からの遠泳は、天候不順による低水温のため中止し、志田浜湖岸周辺での遊泳のみを行った。

ドローンによる動画空撮はユーチューブで発信中

<https://youtu.be/jRzcVN0ffyo>

4 その他の活動

(1) ホームページの活用

ホームページに漂着水草回収事業の案内・実績や、猪苗代湖体感水泳大会の実施状況（ドローン映像も含む）を掲示しているが、まだまだ十分に活用できていない。

(2) 活動報告書（印刷物）の発行

漂着水草回収の実績報告は、関係機関などに配布し、HPにも掲載したが、会の活動報告書（印刷物）の発行はできなかった。

(3) 活動資金の確保

会の発足後は、前身団体などからの寄付金を主な原資として活動してきたが、資金の確保が大きな課題であり、平成28年度以降は各種団体の補助金交付事業に積極的に応募してきて、どうにか採択されている状況である。このため、平成30年度活動資金確保の目処が立ったものの、安定した資金確保が大きな課題である。

(4) 日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会（会長 品川万里（郡山市長））から、日本遺産魅力発信に功績があったとの理由により感謝状の贈呈を受けた。

日時：平成30年3月17日 場所：郡山市役所特別会議室

第2号議案

平成29年度活動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
I. 事業活動収入の部	2,640,000	2,825,152	185,152	
1. 会費収入	110,000	81,000	-29,000	
正会員受取会費	90,000	81,000	-9,000	26人×@3,000、1人30年度分
賛助会員受取会費	20,000	0	-20,000	
2. 補助金等収入	1,150,000	1,350,000	200,000	
補助金・助成金	1,150,000	1,350,000	200,000	河川財団、イオン財団、湖美来クラブ、下水道公社
3. 寄付金等	200,000	200,000	0	
寄付金	200,000	200,000	0	産廃協会、中村玄正
4. 事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
5. 雑入	27,764	41,916	14,152	
雑入	27,764	41,916	14,152	水泳大会参加者負担金 他
6. 前期繰越金	1,152,236	1,152,236	0	固定資産(軽自動車簿価)を含む。
II. 事業活動支出の部	1,514,711	1,632,034	117,323	
1. 事業費支出	1,494,711	1,632,034	137,323	
旅費交通費	10,000	0	-10,000	交通機関利用の実費負担 他
通信運搬費	100,000	97,168	-2,832	電話代、切手代
消耗品費	250,000	370,700	120,700	タオル、ヒシ回収用資材 他
印刷製本費	20,000	10,000	-10,000	活動報告書 他
賃貸料	130,000	182,270	52,270	現地事務所賃借料 他
諸謝金	180,000	145,000	-35,000	車両借り上げ 他
委託料	300,000	376,981	76,981	事務補助委託、HP開設
イベント費	120,000	74,000	-46,000	水泳大会
会議費	10,000	4,470	-5,530	総会会議会場使用料
保険料	110,000	102,850	-7,150	傷害保険、自動車保険
支払手数料	5,000	7,884	2,884	公文書交付、銀行振込
減価償却費	249,711	249,711	0	軽自動車(定率法)
公租公課	5,000	5,000	0	
諸会費	5,000	6,000	1,000	
2. 受託事業支出	0	0	0	
3. 予備費	20,000	0	-20,000	
次期繰越収支差額	1,125,289	1,193,118	67,829	

貸借対照表

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	943,408		
流動資産 合計		943,408	
2. 固定資産			
車両運搬具(軽ダンプ)	249,710		
固定資産 合計		249,710	
資産の部 合計			1,193,118
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債 合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債 合計		0	
負債の部 合計			0
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,152,236	
当期正味財産増減額		40,883	
正味財産の部 合計			1,193,118
負債及び正味財産合計			1,193,118

財務諸表の注記

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協会)によつています。

(1) 固定資産の減価償却方法

固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理方式によつています。

2 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首 取得価額	取得	減少	期末 取得価額	減価償却 累計額	期末 帳簿価額
車両運搬具	1,198,611	0	0	1,198,611	948,901	249,710
合計	1,198,611	0	0	1,198,611	948,901	249,710

財産目録

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	12,820		
普通預金 東邦銀行郡山営業部	930,588		
現金・預金 計	943,408		
流動資産 合計		943,408	
2. 固定資産			
車両運搬具(軽ダンプ)	249,710		
固定資産 合計		249,710	
資産の部 合計			1,193,118
II. 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債 合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債 合計		0	
負債の部 合計			0
正味財産			1,193,118

監 査 報 告 書

定款第 15 条第 4 項の規定に基づき、平成 29 年度における業務及び会計執行状況について監査を実施しましたが、その結果を下記のとおり報告いたします。

平成 30 年 5 月 1 日

特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議

監 事 長尾トモ子  印

記

- 1 監査を実施した日時
平成 30 年 5 月 1 日 (火) 17 時 00 分～17 時 30 分
- 2 監査を実施した場所
特定非営利活動法人 輝く猪苗代湖をつくる県民会議 猪苗代事務所
(猪苗代町千代田字中島 26・2)
- 3 監査の対象
平成 29 年度における財産の状況、業務執行の内容、収入支出等会計執行状況の適否
- 4 監査意見
業務執行と関係諸帳票、証拠書類について監査した結果、内容は適正と認める。

第3号議案

平成30年度活動計画について—(案)—

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

I 活動実施の方針

猪苗代湖の水質日本一復活を目指し、昨年度に引き続き、猪苗代湖の水質改善活動を広く県民に参加を呼び掛けて実施するとともに、猪苗代湖の地域資源としての価値を再確認する活動を広く展開する。

II 会議等の開催

1 通常総会

開催月日 : 平成30年5月20日(日) 16:00～

開催場所 : 郡山市市民交流プラザ 第3会議室(ビッグ・アイ 7階)

2 役員会

事業の円滑な実施のために、適宜開催する。

(1) 第1回役員会 平成30年5月1日(火) 於:猪苗代事務所

(2) 第2回役員会 以降は適宜開催する。

III 特定非営利活動

1 水質改善県民活動

(1) 漂着水草回収事業

国際ロータリー第2530地区(福島県)と猪苗代ロータリークラブの協力を得ながら、県内の団体や個人等の参加を募り、次のとおり実施する。

時期 : 9月29日(土)～11月4日(日)の毎週 土・日曜日 延べ12回

場所 : 天神浜、松橋浜

延べ参加人数(目標) : 2,000人

(2) 繁茂ヒシの回収手法検討

試作した双胴船を活用しながら、ヒシの回収手法を検討しながら回収する。

時期 : 5月下旬～9月下旬

場所 : 猪苗代湖北岸

(3) 繁茂ヨシの回収・有効利用検討

水辺に繁茂するヨシの刈り取り・回収、ヨシ焼き、ヨシの有効利用の方向性について昨年に引き続き意見交換し、実現策を検討する。

(4) ヒシの実等の漂着湖岸の清掃

ヒシの実やヨシ殻が多量に漂着する松橋浜から天神浜にかけて、荒れた湖岸を清掃するため、調査時期、清掃方法、周知・参加者の募集方法などを検討しながら、試行的に清掃を実施する。

(5) 関係行政機関や県民と連携した目に見える水質改善活動の具現化

猪苗代湖のCODを1mg/L未満に抑えることを目指すとともに、生活排水対策を向上させるため、広く関係行政機関や環境保全活動団体、県民等に呼び掛けて、水質改善活動をより具体的に進めるための方策を検討する。

(6) 他団体との協力による清掃活動

他団体が主催する清掃活動等に積極的に参加するとともに、共催による参画も前向きに検討する。

2 水質研究活動

(1) 水質調査の実施

昨年度に引き続き、湖岸周辺の水質調査を継続し、その成果を学会等で発表する。

(2) 検討会の開催（上記Ⅲ-1-(5)の関連活動）

大腸菌群数を環境基準値内へ抑制すること、CODを1.0mg/L未満に抑えることを目標にして、水質研究や実践活動の方向性を検討するための会合を年2回程度開催する。

3 子ども及び青少年の環境保全支援活動

昨年度に引き続き、以下を実施する。

(1) 湖南小学校をはじめとする小中高校等の環境教育学習への支援

(2) 県内大学水泳部による猪苗代湖水質体感水泳大会の開催

(3) 市民大学講座、大学や高校、各種団体等での環境学習講座へ講師派遣

4 地域資源活用活動

猪苗代湖岸のヨシを地域資源として活用できないかの検討を進める。

具体的には、年2回程度現地調査や検討会を開催するとともに、ヨシの有効活用を目指す他団体との連携を図る。

5 猪苗代湖学活動

猪苗代湖の価値を再確認するための「猪苗代湖学」の学習会等を随時開催する。

6 その他の活動

本会の目的を達成するため、本会の活動の趣旨に賛同する団体や企業、マスコミ、行政との連携を図りながら、会の活動の広報・周知のため、次の事業を実施する。

① 活動計画の周知や活動実績のPRをホームページの有効活用で行う。

② 活動報告書（印刷物）を発行する。（年1回以上）

注記 総会で承認されたため、(案)を削除。

第4号議案

平成30年度活動予算書(案)

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議

(単位:円)

科目	予算額	29年度決算額	増減	備考
I. 事業活動収入の部	2,910,000	2,825,152	84,848	
1. 会費収入	95,000	81,000	14,000	
正会員受取会費	90,000	81,000	9,000	30人×@3,000
賛助会員受取会費	5,000	0	5,000	1人×5,000
2. 補助金等収入	1,400,000	1,350,000	50,000	
補助金・助成金	1,400,000	1,350,000	50,000	河川財団、イオン環境財団、湖美来クラブ、下水道公社
3. 寄付金等	200,000	200,000	0	
寄付金等	200,000	200,000	0	産廃協会、損保代理業協会
4. 事業収入	0	0	0	
事業収入	0	0	0	
5. 雑入	21,882	41,916	-20,034	
雑入	21,882	41,916	-20,034	
6. 前期繰越金	1,193,118	1,152,236	40,882	
II. 事業活動支出の部	1,579,855	1,632,034	-52,179	
1. 事業費支出	1,559,855	1,632,034	-72,179	
旅費交通費	10,000	0	10,000	交通機関利用の実費負担 他
通信運搬費	100,000	97,168	2,832	電話代、切手代
消耗品費	350,000	370,700	-20,700	タオル、ヒシ回収用資材 他
印刷製本費	20,000	10,000	10,000	活動報告書 他
賃貸料	180,000	182,270	-2,270	現地事務所賃借料 他
諸謝金	150,000	145,000	5,000	車両借り上げ 他
委託料	400,000	376,981	23,019	事務補助委託、水草運搬
イベント費	80,000	74,000	6,000	水泳大会 他
会議費	10,000	4,470	5,530	総会会議会場使用料
保険料	110,000	102,850	7,150	傷害保険、自動車保険
支払手数料	10,000	7,884	2,116	公文書交付、銀行振込
減価償却費	124,855	249,711	-124,856	定率法
公租公課	5,000	5,000	0	軽自動車税 他
諸会費	10,000	6,000	4,000	
2. 受託事業支出	0	0	0	
3. 予備費	20,000	0	20,000	
次期繰越正味財産額	1,330,145	1,193,118	137,027	

注記 総会で承認されたため、(案)を削除。